



国道157号バイパス工事の横枕区で大規模な遺跡発掘調査が行われました。大野の方々に尋ねても知らない方が意外と多く、身近にこんな素晴らしい遺跡があることを知っていただければと思っています。

横枕遺跡の調査は、県埋蔵文化財調査センターによってこれまで平成十六年に四七六平方メートル、十七年に四五平方メートル行われました。その後の試掘調査で現在の集落より広がっている可能性が高いということで、十九年に約九〇〇〇平方メートルの大規模調査が行われました。今回の調査では、奈良・平安時代（八世紀後半から九世紀前半）を主とし、古墳時代前期（四世紀初頭）から江戸時代にかけての集落跡が続々と発見されました。確実なものだけでも、竪穴住

居（地面を掘り込んで床をつくり、それに屋根を掛けた建物）十六棟、掘立柱建物（地面に穴を掘りそこに柱を立てて屋根を支えた建物）二十三棟が発見されたそうです。しかも掘立柱建物の規模は、どれも大きく、同じ方向を向いて整然と建てられているとい



平成16年に出土した平安時代の八稜鏡（銅鏡。直径約9.4センチ）。発掘調査で出土したものは県内で初めて。

う話を聞くと、立ち並ぶ建物群と往來する人々の姿が目に見え、浮かんできていました。

横枕区ですごい遺跡が発掘された

奈良・平安時代の建物群跡が整然と出現！



てくてくレポート

～リポーターがお伺いします～



リポーター

みやはら けんたろう
宮原 健太郎さん
(65歳 下掘)

遺跡には以前から興味があり、大野高校跡地での発掘調査にも参加したことがあります。指示された場所の土をそっと取り除き手ごたえがあったときの感激を今も覚えています。

横枕区での調査風景を見たときそのときのことを思い出し、レポートしました。



遺跡の説明をする本多調査員

遺跡の統括責任者、本多調査員にお聞きしました。

A この発掘調査の目的は

Q 目的は道路工事に伴い破壊される恐れのある遺跡を調査して記録・保存すること。

平成十六年に始まった横枕周辺での調査のうち、広範囲な



発掘調査は今回が初めてです。今のところ遺跡やその出土遺物の意義の断定的な結論は資料の分析を待たなければなりません。地元大野の歴史を考える一助としてその成果を還元したいのです。その意味もあって昨年十月に現地説明会をさせて頂きました。

Q 平成十九年の発掘では新
 A 奈良・平安時代の掘立柱建物跡は、その規模からみて単に農村の集落ではなく有力者の住む上級の集落の施設、またはこの地を支配する役所的な機能をもった建物と考えられます。そのような意味からみても横枕遺跡は県内でも埋蔵文化財としては第一級の遺跡といえます。

Q 発掘終了後は
 A 残念ですがバイパス工事のため埋め立ててしまいます。その後、横の道路下の調査を予定しています。さらにどんな発見があるか楽しみです。

大野と水のかかわり

出土品に関する説明をされた鈴木調査員によると、今回の発掘で特に興味深いのは中・近世の多くの井戸が発見されたことで、昔から水が豊富だったことの表れではないかということ。その井戸からは多くの祭祀具と見られる用具や生活用品が出土しており、これは枯れた井戸を埋める時に感謝の気持ちを込め、祭



出土品を説明する鈴木調査員

事を営んだものと考えられるそうです。また日常生活に欠かせない水を溜めたと思われる大きな池も多く出土しています。

「大野の方々が今も水を大切に思う心はこんな古代からの教えが脈々と続いているのじゃないか」という言葉が印象的でした。

遠い祖先に想いを

昨年はお隣の勝山市の第三

次恐竜化石調査開始に伴う新種発見への期待や、若狭町ユリ遺跡での丸木舟の出土などが大々的に報道されてきました。ここ横枕遺跡は今のところあまり注目されていないようですが、取材すればするほど、大野にはこんなすごい遺跡が眠っているんだということを実感しました。

昨年十月の現地見学説明会に集まった約八十名の参加者は遠い祖先へ想いを馳せるかのように、熱心に説明に聞き入っていました。この後の調査や報告書が楽しみです。大野では、このほか中部縦貫道の工事のため大矢戸地係で調査が始まっています。立ち寄り、古代のロマンに触れてみては。

遺跡は大野の財産

横枕区長 石田幸男氏



横枕区 石田区長

大規模な発掘調査により、縄文・平安・江戸期三代の土器が出土したのは、横枕区のみならず、大野の財産であり、誇りです。区民も、歴史ある集落に住むことができていると喜んで喜んでいます。特に、昨年七月、区の子どもたちが夏休みの自由研究の一環として、見学した時に、大変興味を持ち感動していたのが印象的でした。その時のレポート(左の写真)はとてもよくできています。

主な出土品

農村集落で通常生活では使用しない物が出土しています。
 ・円面硯(えんめんけん)
 直径約17cmの須恵器のすすり。おそらく奈良時代。



・赤彩暗文土師器(せきさいあんもんはじき)
 都での生産が主。奈良時代。



市民のページ

あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎0779・66・1111

【広告欄】

地域づくりの活動

下庄倶楽部は平成元年に結成されたグループです。下庄地区で中核を担う青壮年層四十三人で構成し、地域づ



五箇地区・嵐の急斜面で収穫作業に取り組むメンバー。左は収穫した嵐カブラ

くりやまちづくりに貢献しようと活動しています。会の活動は多岐にわたっています。地区最大のイベント「下庄まつり」では企画運営に携わり、中心的役割を担っています。そのほかにも、男女共同参画を旨とした学習活動、一人暮らし老人への慰問「まごころ蕎麦サーブ」など、地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいます。

地区の枠にとらわれず、地域を越えたテーマにも取り組みを進めています。過去には手作りのみこしで「おおの城まつり」へ参加していたほか、五箇地区・嵐の伝統野菜「嵐カブラ」を昔ながらの焼畑農法で栽培。自分たちで打ったそばを「越前おおのそばまつり」や「九頭竜まつり」で出店販売しています。



おおの城まつりでのみこし参加

YOSHIKEI 福井
YOSHIKEI

ヨシケイは「健康づくり」を応援します。食事でお悩みの方、食生活の改善をお考えの方、ご相談下さい。

0120-35-0200
通話料無料

(URL) <http://www.yoshikei-fukui.com/>
(E-mail) info@yoshikei-fukui.com

無料レポートプレゼント!

「家づくりで損をしない方法」 限定10名様!!

定価1,000円 A5版73頁 本屋さんでは売っていません!

お申込は⇒TEL 0120-48-0618

(有) 羽生建築工業
大野市中堀 16-20

もっと詳しく知りたい方は⇒
フィットホーム 検索

ADVANCE SCHOOL

英語、数学、英会話

新中1生募集

Home 66-4311
Mail placebo@grape.plala.or.jp

大野東高8人 ものづくり全国大会 W 出場

ダブル

こんにちは



二年生の清水慎也さん、日置弘志さん、巻寄さつきさんは、昨年十一月に静岡県で開かれた「第七回高校生ものづくりコンテスト全国大会」に出場しました。この大会は、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術継承が危ぶまれる中、全国の高校生が一堂に会し、若年技術者の育成を目的に毎年開催されているものです。

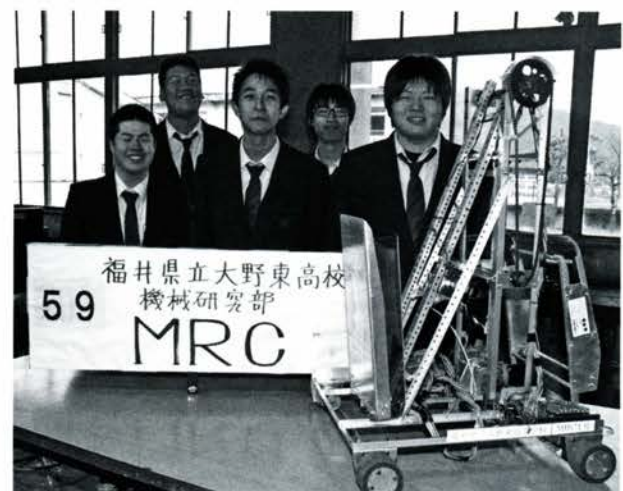
二人は、今年度新設された「測量部門」に参加しました。二人は、今年度新設された「測量部門」に参加しました。二人は、今年度新設された「測量部門」に参加しました。二人は、今年度新設された「測量部門」に参加しました。

結果は十チーム中四位。一位から四位までそれぞれ一点差の小差だったため、三人は「悔しい」とコメント。それでも巻寄さんは「大会を通して知り合った数少ない女の子と、今も連絡を取り合っているんですよ」と笑顔で話してくれました。

第7回高校生ものづくりコンテスト 小差4位に「悔しい」

3回戦進出で「満足」 第15回全国高等学校ロボット競技大会

機械研究部（MRC）所属の五人は同じく昨年十一月、沖縄県で開かれた「第十五回全国高等学校ロボット競技大会」に出場しました。競技は「ロボットを使って、積まれた缶詰を三分間でいかにたくさんかごに入らせるかを競うものです。全国から百二十八チームが参加。



一チーム二人で、ロボットを操作する操縦者と調整を指示するナビゲーターの連携が勝負を左右します。操縦を担当した二年生の山下剛幸さんは「操縦者の位置から缶が見えないので、慣れるまで苦労しました。慣れてからはナビゲーターの指示に従うことができました」。一年生でナビゲーターを務めた鈴木将平さんは「ミスはありましたが、ある程度うまくできた」と試

合を振り返ります。「操縦者として出場を」(一年生の齊藤優樹さん)、「大会前に体調を崩し、ナビゲーターとして出場できなかった」(二年生の太田裕己さん)と、次回への決意を語れば、MRC部長で三年生の齊藤史弥さんは「三回戦に進出できてみんな満足しています。機械のトラブルもなく、気持ちよくできた」と感想を話してくれました。

【広告欄】

広告募集中
(1カ月1枠1万円)
問い合わせ先
情報広報課広報広聴係
(☎66・1111内線441)

各種損害保険・各種生命保険
事故相談・各種保険診断
グランド保険株式会社
〒912-0021 大野市中野町2丁目2番16号
☎ 050-3386-3952 ☎ (0779) 65-6601
☎ (0779) 65-6657 ✉ info@grandhoken.com
〈取扱保険会社〉 損害保険ジャパン アリコジャパン Afac
損保ジャパンひまわり生命 第一生命

初心者教室・小学年代・中学年代
フエンテ大野
サッカースポーツ少年団
団員募集中!!
活動日 有終東サッカー教室 毎週月曜日
下庄サッカー教室 毎週土曜日
U-12(小学生チーム) 毎週火・木・土曜日
U-15(中学生チーム) 毎週火・木・土曜日
対象者 小学1年生から中学3年生まで
地域、学校、活動歴は問いません。
代表 山村正人
TEL 65-0393 携帯 090-2126-4600
E-mail fuenteono@yahoo.co.jp

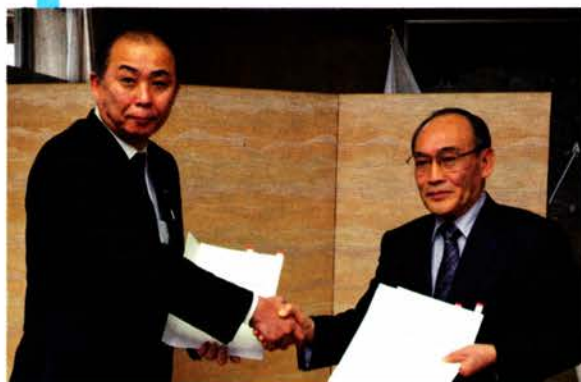


企業と連携・食育推進

市では、地域と企業の連携事業を進めています。その一環として、このほど市内で初めて、森永乳業㈱の出張料理教室「エムズキッチン」が富田公民館で開催されました。参加した地区住民18人は、健康に役立つ乳製品の活用法を学んだ後、早速「豚ロース肉のグリル」など4品の調理に挑戦していました。

暴力団排除へ合意書締結

公共工事や指定管理者から暴力団を排除するため、市と警察相互の連絡通報を確立する合意書の調印式が12月17日、市長室で行われました。岡田市長と山田茂男大野警察署長が合意書に署名。今後、連携しながら一体となって取り組んでいきます。



ふるさとづくり大会

美しい奥越を創る協会による「奥越地区ふるさとづくり大会」が12月8日、学びの里「めいりん」で開かれました。優良実践者表彰や実践発表、神子踊の披露、大野生活学校の協力によるふるさと料理試食会が行われ、参加した約100人はふるさとの大切さを再確認していました。



イトヨ守る“糸張る”

市の魚「イトヨ」をサギなどから守るためのテグス、ネット張りが12月20日、本願清水イトヨの里で行われました。大野イトヨの会のメンバーなど10人は、手際よく作業していました。



話題のひろば



大人顔負け演技

劇団チャップスと児童劇団チャップス・ジュニアによる創作劇が12月16日、文化会館で上演されました。クリスマス为主题にした内容で、約450人の親子が来場。大人顔負けの演技に、盛んに拍手を送っていました。

飲酒運転追放を宣言

12月21日、市交通対策協議会による「飲酒運転追放宣言大会」が有終会館で開かれ、交通指導員会の牧野正栄会長が宣言書を読み上げました。大会終了後、市民ら約70人は15班に分かれて飲食店などを巡回。飲酒運転撲滅への協力を呼び掛けました。



12年目運行終える

越前こぶし組による人力車の大掃除が12月24日、平成大野屋で行われました。12年目の運行となった昨年は、41組の観光客が乗車。今シーズンは春分の日から運行を行う予定です。

高規格救急車を配備

12月26日、消防署に2台目の高規格救急自動車配备了れました。購入金額は2971万5000円です。これまでより広がった患者室や高度な救命処置に必要な資機材、安全な搬送を行うためのLEDを採用した大型赤色灯などの機能を備えています。





笑顔！で「いただきます」⑩

のっぺい汁



材料 (4人分)

- ・サトイモ 150g^ア
- ・干しいたけ 4枚
- ・ニンジン 小1本
- ・大根 150g^ア ・ごぼう 50g^ア
- ・中あげ 半分 ・水 800g^ア
- ・糸こんにゃく 半袋
- ・しょうゆ 大さじ3

今後は「のっぺい汁」です。
今後も伝え残したい郷土料理。

伝えたい郷土料理

作ってみよう

【まず】サトイモは皮をむき、干しいたけは水で戻す。中あげは湯通しし、糸こんにゃくはゆで、ごぼうは表面を削り、水につけておく。

- ①ニンジン、大根を含めすべての材料は、一口大の乱切りにする。糸こんにゃくは半分に切る。
- ②①の材料を鍋に入れ、水としょうゆを加えて弱火で煮る。
- ③サトイモや大根などの材料がやわらかくなったら火を止める。

達人のワンポイントアドバイス

煮込む際、こんぶとかつおで取っただし汁を使うと味がしっかりします。野菜が水を吸うので、水気がなくなるよう気をつけて。野菜のうまみを引き出すように、しょうゆの量で味を整えると良いでしょう。

(大野生活学校副会長
笹島友子さん)



市民のうごき

平成20年1月1日現在

世帯数	12,257世帯 (-14世帯)
人口	38,795人 (-55人)
(男)	18,518人 (-13人)
(女)	20,277人 (-42人)

◆12月中の内訳

転入	47人	出生	20人
転出	77人	死亡	45人



る役割分担をしてはいませんか。まずは身近な家庭から、男女共同参画してみてもいい

五ページに掲載したクイズの答え、すぐに分かりましたか。「外科医は男の子の母親」が答えです。このクイズは男女共同参画の講演会で、講師の伊藤公雄京都大学大学院教授が会場の皆さんに出題、問いかけたものです。答えを聞き、会場ではさまざまな反応が見られました。知らず知らずのうちに性差による

編集後記



「わあ真っ白！まるで天と地がつながっているみたい。ステキ！」初めて冬の「大野を訪れた知人の歓喜の一声である。なるほど、雪に縁のない都会人にはステキに見える雪景色も、住む人にとってはまさにしるもの▼願わくはと思っていたが、大みそかから年明けにかけて冬將軍にすっかりやられた。里はすっぽりと雪に埋もれ、おとそ気分もそこそこに屋根に上がった人も▼冬將軍とは冬の異名で、冬の厳しさを擬人化した表現。モスクワに突入したナポレオンが厳寒と積雪に悩まされて敗北した史実に由来する。大自然を敵に、名将の辞書にもやはり不可能の文字はあったか▼豪雪の地に住む我々は違う。先人より越冬の知恵を授かり、家の内外に冬構えも万全。少々のことではビクともしない。子どもたちもスキーや雪合戦など、寒さに負けず存分に冬を楽しむ。また、人物・自然・観光の三編からなる当市オリジナルの『ふるさとかるた』も小学生に根強い人気。地区予選を経て今月いよいよ決勝の時を迎える。雪国・大野ならではの冬の定番は豊富だ▼二月は別名『早緑月』とも。どんなに雪深くとも、雪下では春に向けてあまたの命が脈々とはぐくまれている。やがて来る春に思いをはせながら、人々はふるさとの厳冬を生きる(羽生)